

緊急時・災害時における対応マニュアル(家庭用)

市川三郷町立市川南中学校

大地震(震度5弱以上)発生時 南海トラフ地震臨時情報(警戒・注意)発



登下校時

家庭にいる時

学校にいる時

- ★崖等の危険箇所を避け
- ・自宅か学校か近い方へ
- ・家人が不在の時は学校へ

- ・連絡があるまで自宅待機
- ・保護者の監督のもと、避難してください。

- ・授業を中止し、安全な場所(学校の敷地内)に避難し、保護者の引き取りを待ちます。

学校から連絡がなくても、生徒の引き取りをお願いします。
(安否確認)

自宅

避難所



台風・大雪等の自然災害発生時



学
校

登下校に
関する
連絡

家
庭

対策

- ・学校より登下校に関する連絡を各家庭に連絡します。
- ・下校については、学校の判断により、引き渡しか、集団下校かを連絡します。
- ・集団下校の場合は、必ず教師が付き添います。
- ・登校に関しては、前日もしくは当日午前7:00までに連絡します。



有害鳥獣(くま・いのしし・さる)等の対策



地域・家庭
からの情報

公共機関・メ
ディアからの

学
校

緊急
連絡事

家
庭

対策

- ・PTA緊急執行部会を招集し、対応策を検討します。
- ・家庭での送迎の場合は、3週間位をめぐりに実施し、再度検討します。
- ・地区毎に対応の場合は、各地区に対応一任します。ただし、結果の報告は必ず学校にご連絡ください。
- ・長期にわたる場合は、町当局にスクールバス・コミュニティバスの利用許可を要望します。

大地震(震度5弱以上)発生, 南海トラフ地震臨時情報(警戒・注意)発表による学校・家庭の対応

○注意情報が発表された時

●震度5以上の地震発生の時

◎共通

市川三郷町立市川南中学校

居場所	登 校 中	学 校 に い る と き			下 校 中	家にいるとき	
		授 業 中	休 み 時 間	放 課 後			
学 校 の 対 応	生 徒	○家に帰ったほうが早い生徒は, そのまま家に帰る。 ○学校に近い生徒, 登校している生徒は, 学校に避難する。 ●大きなへいや屋根の下からはなれる。 ●ゆれがすんだら, 家か学校か, 近いほうへ行く。	○授業を中止して, 先生の指示により家に帰るしなくをする。 ○引き渡し場所に, 学年ごとに整列する。 ●つくえの下に身をかがめて, 先生の指示をまつ。 ●先生の指示に従う。	○すぐに自分の教室にもどり先生の指示に従う。 ●校庭にいる生徒は, 校庭中央付近に集まる。 ●校舎内の生徒は, 教室などのつくえの下に身をかがめる。 ●ゆれがすんだら, 校庭に避難し先生の指示に従う。	○先生の指示に従い待機する。 ●校庭にいる生徒は, 校庭中央付近に集まる。 ●校舎内の生徒は, 教室などのつくえの下に身をかがめる。 ●ゆれがすんだら, 校庭に避難し先生の指示に従う。	○家に帰ったほうが早い生徒は, そのまま家に帰る。 ○学校に近い生徒は, 学校に避難する。 ●大きなへいや屋根の下からはなれる。 ●ゆれがすんだら, 家か学校か, 近いほうへ行く。	○警戒宣言が解除されるまで臨時休校となる。 ○家から外出しない。 ●家の人の指示にしたがって, じょうぶなもののかげに身をかがめる。
	教 職 員	◎登校した生徒の掌握・人員確認をする。 ◎未登校の生徒の安否を確認する。 ◎保護者への引き渡し準備・連絡をする。 ◎関係諸機関と連絡をとる。 ◎組織分担に従って行動する。	○授業を中止し, 下校の支度をさせ, 引き渡しの準備をする。 ○組織分担に従って行動する。 ●生徒を机の下にもぐらせ, 指示を待つ。(被害状況の確認)	○教室にもどり, 人員を確認して, 引き渡しの準備をする。 ○組織分担に従って行動する。 ●ゆれがすんだら, 教室にもどり, 安全を確認する。(被害状況の確認)	○残留生徒の有無を確認, 引き渡しの準備をする。 ●残留生徒の人員, 安全を確認する。(被害状況の確認) ●帰宅した生徒の安否を確認する。	◎学校周辺の下校中の生徒の帰宅指導を行う。 ◎帰宅不可能生徒を学校にもどし, 引き渡し準備・連絡をする。	○近隣在住職員は直ちに出勤し, 情報収集にあたる。 ○他の教職員は自宅に待機する。 ●近隣在住職員は出勤して, 被害状況を把握する。 ●他の教職員は自宅に待機する。
居場所	登 校 中	学 校 に い る と き			下 校 中	家にいるとき	
家 庭 の 対 応	保 護 者	大地震(震度5弱以上)発生の時, 南海トラフ地震臨時情報(警戒・注意)発表の時は, 生徒の引き渡しを行うので, 学校へ迎えに行く。				○火の始末をする。 ○避難の準備をする。 ●火の始末をし, 安全なところに避難する。	
	生 徒	友だちの家にいるとき	外で遊んでいるとき			○注意情報が解除されるまで家にいる。 ○家から外出しない。 ●家の人の指示にしたがって, じょうぶなもののかげに身をかがめる。	
避難所	自宅近くの避難場所			通学路にある避難場所			
家族の緊急連絡先							

【太線内につきましては, 各家庭で話し合い, 必要事項を記入後, 目立つところに掲示をお願いします】

【授業の再開は, 児童生徒やご家庭の被害状況, 通学路や校舎内外の状況, 地域の事情などを考慮し, 教育委員会と話し合って決定します。再開情報は, 町の防災無線や緊急連絡網, 伝言ダイヤルで行います】

大地震(震度5弱以上)発生, 南海トラフ地震臨時情報(警戒・注意)発表による学校・家庭の対応

○注意情報が発表された時

●震度5以上の地震発生の時

◎共通

市川三郷町立市川南中学校

居場所	登 校 中	学 校 に い る と き			下 校 中	家にいるとき	
		授 業 中	休 み 時 間	放 課 後			
学 校 の 対 応	学 生	○家に帰ったほうが早い生徒は, そのまま家に帰る。 ○学校に近い生徒, 登校している生徒は, 学校に避難する。 ●大きなへいや屋根の下からはなれる。 ●ゆれがすんだら, 家か学校か, 近いほうへ行く。	○授業を中止して, 先生の指示により家に帰るしなくをする。 ○引き渡し場所に, 学年ごとに整列する。 ●つくえの下に身をかがめて, 先生の指示をまつ。 ●先生の指示に従う。	○すぐに自分の教室にもどり先生の指示に従う。 ●校庭にいる生徒は, 校庭中央付近に集まる。 ●校舎内の生徒は, 教室などのつくえの下に身をかがめる。 ●ゆれがすんだら, 校庭に避難し先生の指示に従う。	○先生の指示に従い待機する。 ●校庭にいる生徒は, 校庭中央付近に集まる。 ●校舎内の生徒は, 教室などのつくえの下に身をかがめる。 ●ゆれがすんだら, 校庭に避難し先生の指示に従う。	○家に帰ったほうが早い生徒は, そのまま家に帰る。 ○学校に近い生徒は, 学校に避難する。 ●大きなへいや屋根の下からはなれる。 ●ゆれがすんだら, 家か学校か, 近いほうへ行く。	○警戒宣言が解除されるまで臨時休校となる。 ○家から外出しない。 ●家の人の指示にしたがって, じょうぶなもののかげに身をかがめる。
	教 職 員	◎登校した生徒の掌握・人員確認をする。 ◎未登校の生徒の安否を確認する。 ◎保護者への引き渡し準備・連絡をする。 ◎関係諸機関と連絡をとる。 ◎組織分担に従って行動する。	○授業を中止し, 下校の支度をさせ, 引き渡しの準備をする。 ○組織分担に従って行動する。 ●生徒を机の下にもぐらせ, 指示を待つ。(被害状況の確認)	○教室にもどり, 人員を確認して, 引き渡しの準備をする。 ○組織分担に従って行動する。 ●ゆれがすんだら, 教室にもどり, 安全を確認する。(被害状況の確認)	○残留生徒の有無を確認, 引き渡しの準備をする。 ●残留生徒の人員, 安全を確認する。(被害状況の確認) ●帰宅した生徒の安否を確認する。	◎学校周辺の下校中の生徒の帰宅指導を行う。 ◎帰宅不可能生徒を学校にもどし, 引き渡し準備・連絡をする。	○近隣在住職員は直ちに出勤し, 情報収集にあたる。 ○他の教職員は自宅に待機する。 ●近隣在住職員は出勤して, 被害状況を把握する。 ●他の教職員は自宅に待機する。
居場所	登 校 中	学 校 に い る と き			下 校 中	家にいるとき	
家 庭 の 対 応	保 護 者	大地震(震度5弱以上)発生の時, 南海トラフ地震臨時情報(警戒・注意)発表の時は, 生徒の引き渡しを行うので, 学校へ迎えに行く。				○火の始末をする。 ○避難の準備をする。 ●火の始末をし, 安全なところに避難する。	
	学 生	友だちの家にいるとき	外で遊んでいるとき			○注意情報が解除されるまで家にいる。 ○家から外出しない。 ●家の人の指示にしたがって, じょうぶなもののかげに身をかがめる。	
避難所	自宅近くの避難場所				通学路にある避難場所		
家 族 の 緊 急 連 絡 先							

【太線内につきましては, 各家庭で話し合い, 必要事項を記入後, 目立つところに掲示をお願いします】
 【授業の再開は, 児童生徒やご家庭の被害状況, 通学路や校舎内外の状況, 地域の事情などを考慮し, 教育委員会と話し合って決定します。再開情報は, 町の防災無線や緊急連絡網, 伝言ダイヤルで行います】